

フォーラム出席者からのコメント

【販売事業者】

- 業界ルール案につき全面的に賛成。これにしたがって販売継続したい。販売後の安全性は、ネットのほうが履歴を終えるので顧客にアプローチできる。
- 対面というが、ドラッグストアでは、薬剤師が調剤室に入ったきりになって
いるものも多く、疑問。
- 業界ルール案をもとにしていけば、安全性は十分確保できる。
- ネット販売は、「究極の対面販売」。
- ネットは顔が見えないと言うが、実際に販売している立場からするとそんな
ことはない。ネットのほうがメール等を通じて対面よりも本音を聞けるし、
詳しい症状もメールで送ってくれ、返信メールを夜にすることも多々ある。
ネットのほうが消費者の反応をじかに感じ取れる。
- 一般用医薬品は医療用医薬品と違って、説明文書に従った服用をすれば安全
とされているものであることを踏まえた議論が必要。
- 業界ルール案はすばらしい。6月からと言わずやれることはすぐにやるべき。
販売継続を勝ち取るには、ルールの実施が必要。ルールはどんどん改良して
いけばよい。
- ネットを規制する理由がまったく分からない。
- 実店舗での対面での販売はほとんどないので、規制されると死活問題。
- フリーダイヤルの設置、飲み合わせの危険性の確認、注文から配送までの一
貫した過程において専門家が関与することなどを既に実施しているが、今後
も、チェックシート・アンケートシート等充実していきたい。

【消費者】

- 今回の規制は、IT化時代になぜと思う。事業者には、ディフェンスの安全
策だけでなく、逆に、消費者に積極的に医薬品の情報を提供することがネッ
トではできると思うので、考えてほしい。
- 通信販売という手段がなくなるのは不安。あらためて都内の薬局の実店舗の
状況を確認したが、知識のないバイトが売っており、不安になった。ネット
のほうが情報を出しており、安心。
- 規制で何を守ろうとしているのか分からない。
- 水虫薬をネットで購入している。メールで患部の写真を送って疑問点等をい
ろいろ聞いている。ネットはバックアップ体制がすばらしい。
- 店頭でないときちんとした情報提供が受けられないということは、経験上な

い。店頭で説明されることはまずない。顔が見えないからこそ相談できることだってある。

- 消費者不在の議論が腹立たしい。
- 消費者の選択の幅を狭めないでほしい。ネットだとリスクがあるとの主張が分からない。店舗でもきちんとした説明が担保されるのかきちんと規制をかけないとフェアでない。
- （視覚障害者の方のご発言）自分は対面では相手が専門家かどうかは分からないので、対面であることに意味は無い。店頭では箱を開封して中の説明書を読んでもくれないが、ネットではそれが掲載されており音声ソフトで聞ける。平等に医薬品を提供することこそがキーワード。
- 検討会の構成はアンフェアであり、消費者が入っていないのもアンフェア。

【弁護士】

- 今回の措置は、営業上の自由への過度の制限であり、憲法第 22 条違反の可能性。業界ルール案のように安全性を確保できる方法があるのにそのような「より制限的でない方法」を検討していないことが問題。通信販売で医薬品を購入するという重大な国民の権利を法律では無く省令で行っており、憲法第 41 条違反の可能性。

以 上

ネット署名

■ ネット署名は、3月11日現在で、約83万2千件（速報値）に達している。

■ 下記の有識者の方々に、ご賛同いただき、コメントをいただいております。



中谷彰宏様
作家
[コメントを読む](#)



玉井克司様
東京大学先端科学技術
研究センター教授
[コメントを読む](#)



南美希子様
キャスター・エッセイスト
[コメントを読む](#)



長塚智広様
騎線オリンピック選手
（三大会連続出場）
[コメントを読む](#)



二宮清純様
スポーツジャーナリス
ト
[コメントを読む](#)



山田善輔様
株式会社サイバーエ
ージェント 代表取締役
社長兼CEO
[コメントを読む](#)



田原健一様
ジャーナリスト
[コメントを読む](#)



香山直美様
（ペンネーム：村山ら
むね様）
消費生活アドバイザー
・ブロガー
[コメントを読む](#)



荒井吉純様
立教大学法学部教授
[コメントを読む](#)



高本英彦様
デジタルハリウッド特
許会社 取締役会長
[コメントを読む](#)



夏野剛様
慶應義塾大学 特別
招聘教授
[コメントを読む](#)



野口英彦様
株式会社ピーチ・ジ
ョシ代表取締役
[コメントを読む](#)



野口健一様
作家・多摩大学教授
[コメントを読む](#)



SHOGO様
ミュージシャン(175R
Vocal)
[コメントを読む](#)



松永英彦様
株式会社サンダイ取
締役
[コメントを読む](#)



梶浦康次
トランスコスモス株式会社 代表取締役会長兼CEO
コズコム株式会社



野原佐和子
株式会社イブシマーケティング研究所 代表取締役社長
コズコム株式会社



本間理沙
タレント
コズコム株式会社



西澤シノブ
プロボクサー(第15代日本ミドル級チャンピオン、第10代東洋太平洋スーパーミドル級チャンピオン、第11代東洋太平洋ライトヘビー級チャンピオン)
コズコム株式会社



石井一久
投手(埼玉西武ライオンズ所属)
コズコム株式会社



浦田聖子
プロボクサー
コズコム株式会社



宮本直樹
スポーツビジネスプロデューサー 元プロテニスプレイヤー
コズコム株式会社



TAKUYA
ミュージシャン (ROBO'S vocal and guitarist 元Judy And Mary)
コズコム株式会社



石水智尚
Internet Solutions Limited 役員
コズコム株式会社



井上高志
株式会社キクト 代表取締役社長
コズコム株式会社



沢田登去子
有限責任中間法人EOネットワーク 理事
コズコム株式会社



藤元靖太郎
DADR 代表取締役社長
コズコム株式会社



岡嶋裕史
関東学院大学 経済学部 准教授
コズコム株式会社



有田芳生
ジャーナリスト
コズコム株式会社



村井純
慶應義塾大学 環境情報学部 教授
コズコム株式会社



山口啓
駒澤大学グローバルメディア・スタディーズ学部 准教授
コズコム株式会社



佐藤可士和
アートディレクター、クリエイティブディレクター
コズコム株式会社



木村剛
株式会社フィナンシャル 代表取締役社長兼CEO
コズコム株式会社



奥谷穂子
株式会社ザ・アール 代表取締役社長
コズコム株式会社



山本由樹
光文社 STORY 編集長
コズコム株式会社



泉香苗
株式会社キャリア・マム 代表取締役
コズコム株式会社



浅野史郎
慶應義塾大学 総合政策学部 教授
コズコム株式会社



寺田和正
株式会社けまんざたパソコンセンター 代表取締役社長
コズコム株式会社



藤谷正海
GMOインターネット株式会社 代表取締役会長兼社長グループ代表
コズコム株式会社

関連するTV・新聞報道

■2月7日 日経新聞 社説「薬販売、ネットでも安全は確保できる」

- ・厚労相は日本薬剤師会など業界団体の意見だけでなく、こうした利用者・消費者の声にも耳を傾けるべきである、と指摘。

■2月8日 朝日新聞 社説「薬の通販規制 もっと知恵を絞りたい」

- ・厚労省が議論をこれまで尽くしてこなかった対応のまずさを指摘、また、事業者と厚生労働省が連携し、通販のルール作りを行うことができないか、と投げかけている。

■2月25日 フジテレビ とくダネ

- ・ 医薬品ネット販売に関する街頭アンケート（不便な人には制約が出るなど）、番組独自アンケート（規制反対が55.8%）を紹介。
- ・ ネットで薬を購入する障害者の声、ネット販売を手がける薬局の薬剤師の声を紹介。
- ・ 小倉氏スタジオコメント「リアル店舗でも、欲しいものをカゴに入れて、レジに出すだけというのが現状なので、安全の担保といたって、ネットでもリアルでも同じ」「処方箋薬は薬局でも買えない状況があるなかで、このようなネットという流通があるのは当たり前」
- ・ デーブスペクター氏コメント「アメリカでは市販の薬だけでなく、処方箋薬もネットで購入できる」

■2月27日 日本テレビ ミヤネ屋

- ・ 利用者の中で困る人がいる例として、目が不自由な鈴木悟さんを紹介。「体調が悪いと、耳に集中しようとする時に頭痛がする。どうやって冷静に判断できるのか」というコメントを紹介。
- ・ 浅野史郎氏（前宮城県知事・元厚生労働省）のコメント「売り方の問題・買い方の問題というより、薬という商品の性格の問題。リスクはある。リスクをきちんと知らせるかどうかが。通販の場合、きちんと（説明）しさえすればいいんじゃないか。」
「サリドマイドやキノホルム（スモン）による薬害は、売り方の問題ではなく、その薬そのものの副作用がはっきりしないまま市販薬として使われたということが問題。」「どこで買おうと同じ。（いずれにせよ、用法・用量については）知らせなくて

はいけない。」「規制側としては、副作用がおきた場合が怖いので、ネットを規制しようということなのだろう。しかし、利用者側のことも考えなくてはならない。」「今回の省令改正で誰が喜び、誰が救われるか分からない。」

- ・ 飯星景子氏（コメンテーター）のコメント「あまり症状を説明して買うことは少ない。よって（ネット販売と店頭販売とで）どんな違いがあるか正直分からない。」「薬はリスクを伴う。それと、薬害被害者が通販で購入したかどうかは話が違う。同じところで論じるのは難しいだろう。」
- ・ 春川正彦氏（読売テレビ解説委員）のコメント「ネットや電話はツール。そこに規制かけるのは難しいので、安全な販売環境のあり方を論じるべき。ネットか否かは問題ではない。」

■ 3月1日 NHK 経済羅針盤

- ・ スタジオ解説(関口 編集委員)「これに対してネット事業者も安全強化策を考えている。届出制やインターネットでの自主的監視、また利用者に対しても注意事項を必ず読んでもらうとか、大量購入を防ぐために個数制限も検討している。今週にも新たなガイドラインが出る予定」
- ・ スタジオコメント(関口 編集委員)「安全性と利便性の二者択一ではいけない。両方大切。業界が出すガイドラインでこの両方を図る解決策ができるか注目したい」「あと3ヶ月で改正というのにも関わらず、我々が知らないことが多い。これまで普通に飲んでいた薬が、分類されてリスクが高いですよといわれるとドキっとする。厚生労働省へのお願いとしては、分類の趣旨や意味を丁寧に消費者に説明してほしい。」

以 上

第1回検討会資料

(平成21年2月24日)